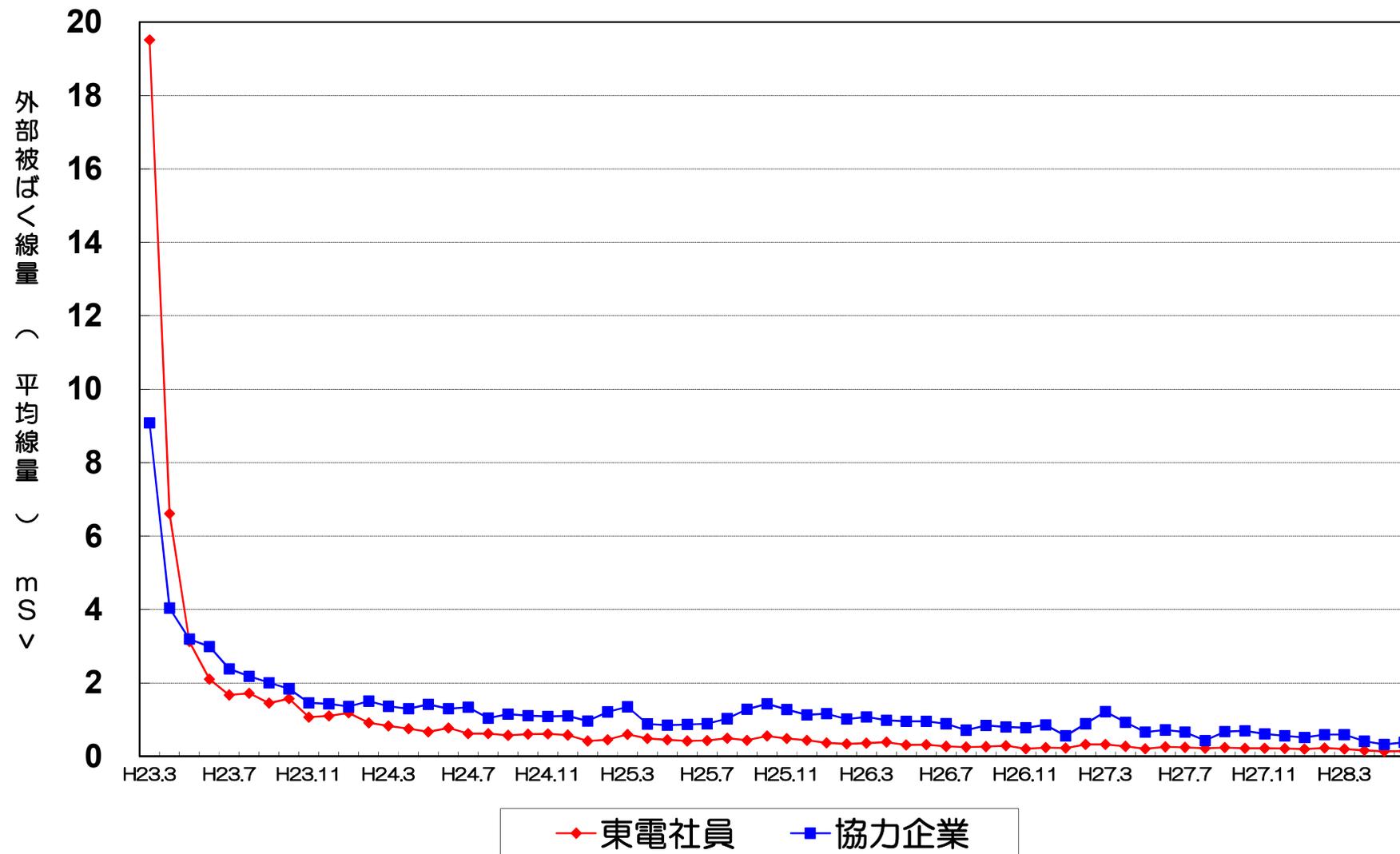


# 福島第一原子力発電所従事者の被ばく線量の全体概況について

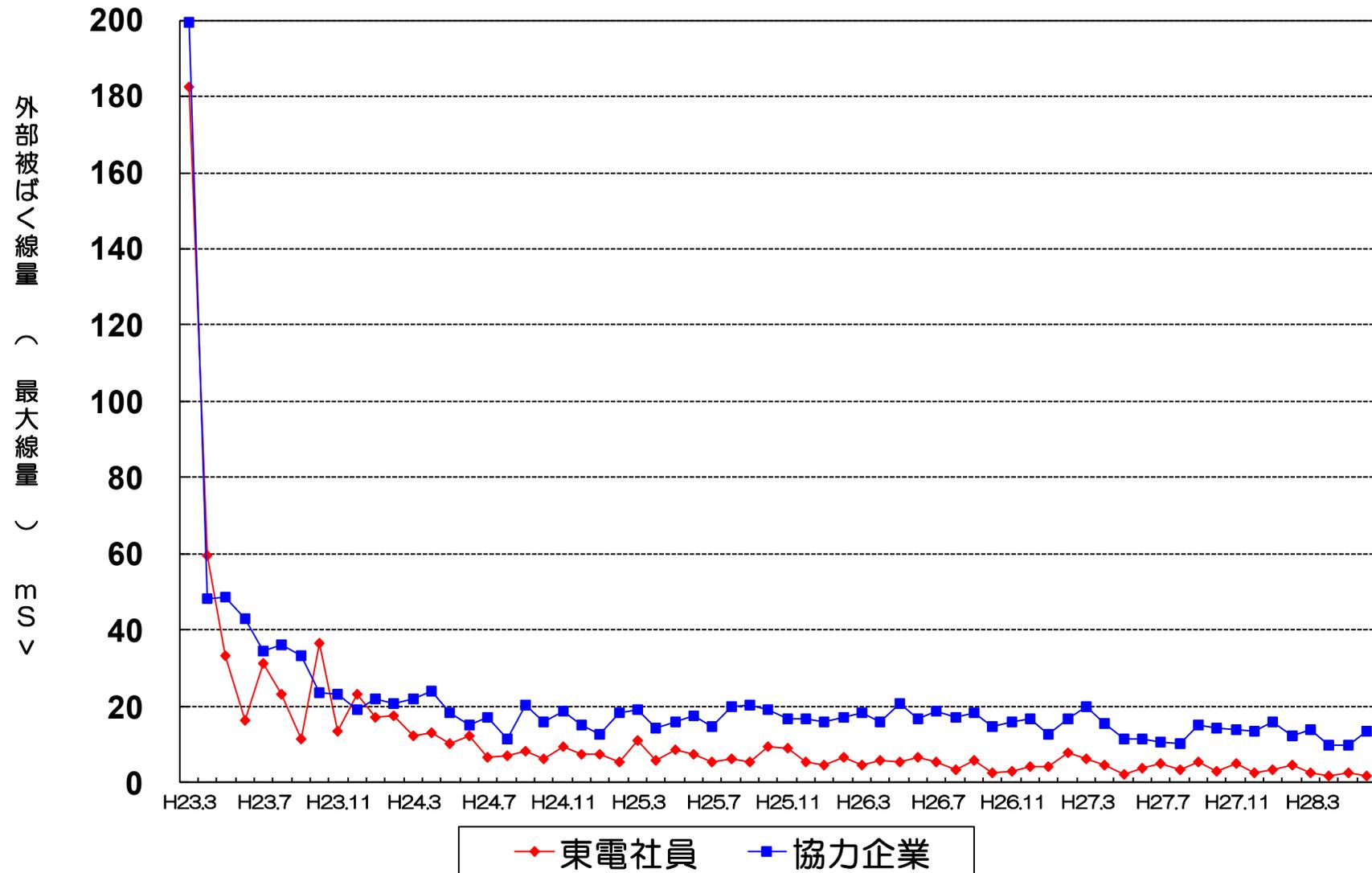
---

2016年 9月 7日  
東京電力ホールディングス株式会社

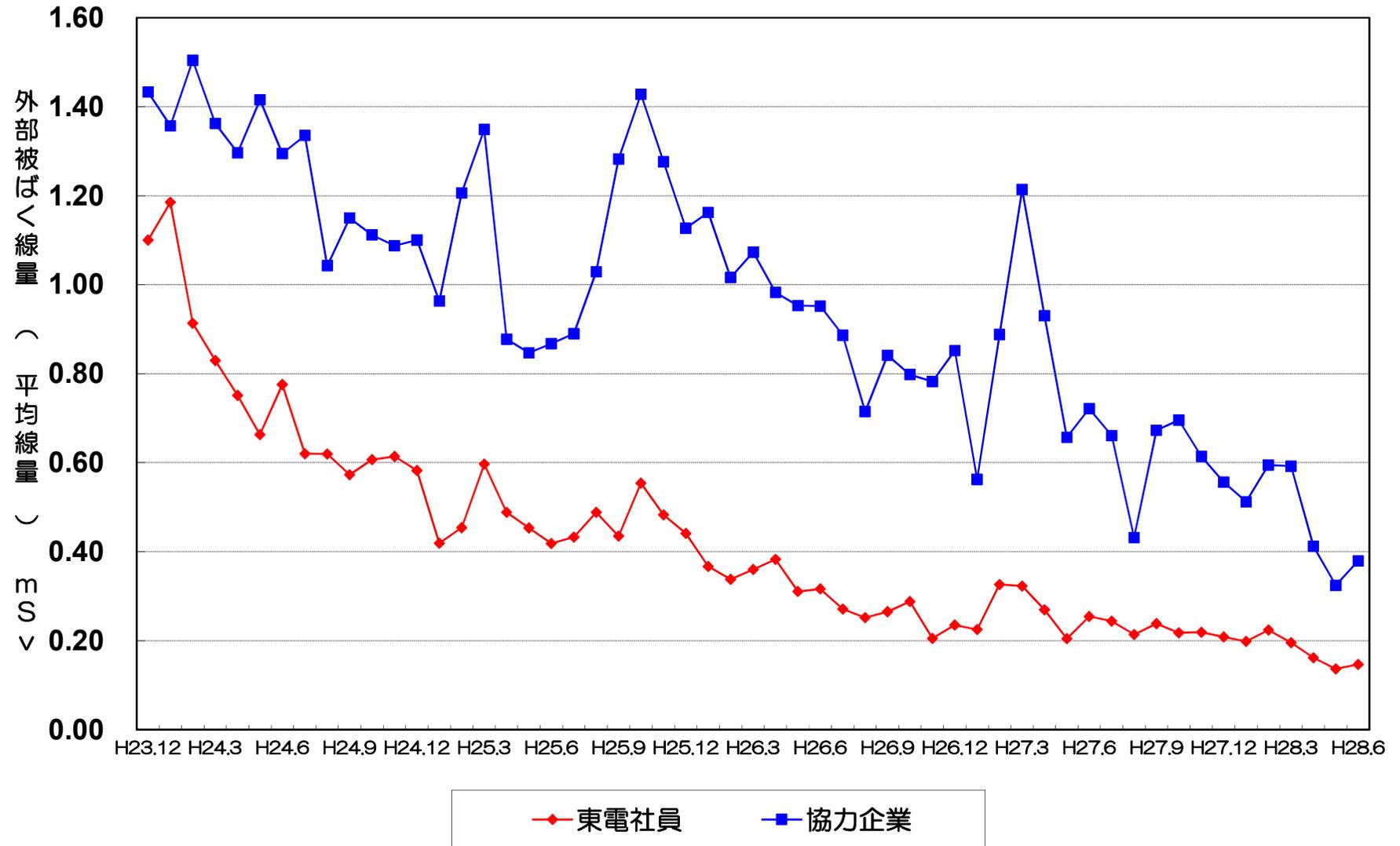
# 1. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況(月平均線量)



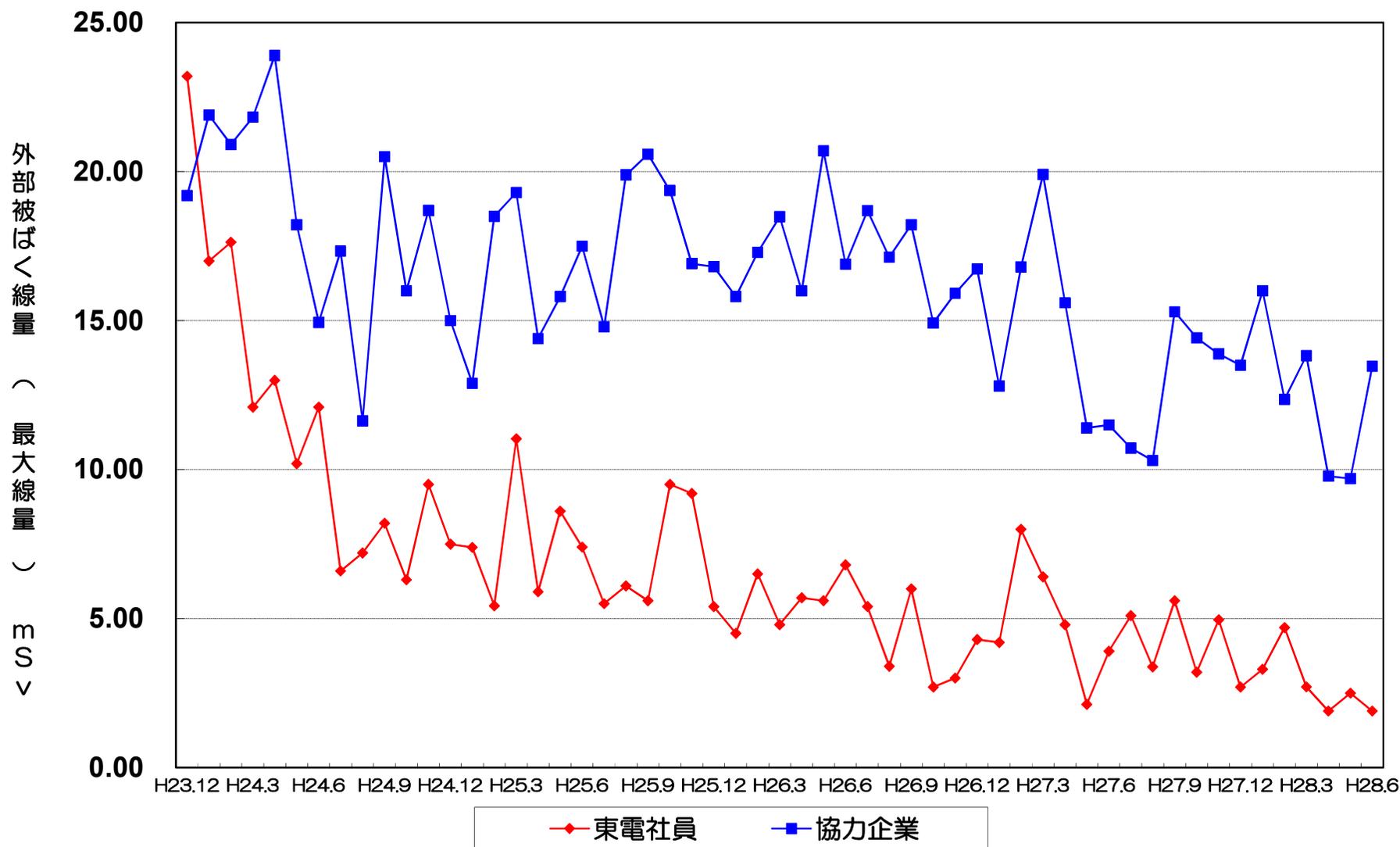
## 2. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況(月最大線量)



### 3. ステップⅡ以降の線量推移(月平均線量)



## 4. ステップⅡ以降の線量推移(月最大線量)



## 5. 現在の状況 (放射線業務従事者の累積被ばく線量 H27年度分)

区分(mSv)	H27.4～H28.3月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	6	592	598
10超え～20以下	52	1,947	1,999
5超え～10以下	108	2,247	2,355
1超え～5以下	533	5,114	5,647
1以下	998	6,599	7,597
計	1,697	16,499	18,196
最大(mSv)	24.00	43.20	43.20
平均(mSv)	1.85	4.52	4.27

○H27年度（4月～3月）に作業実績のある  
18,196名のうち

- 18,196名（100%）は50mSv以下
- 17,598名（96.7%）は20mSv以下
- 13,244名（72.8%）は5mSv以下



○全ての作業者について被ばく線量は線量限度内(50mSv/年)で管理。

※一部の東電社員に適用していた特定高線量作業従事者については、H27.9月をもって届出を取りやめている。

## 6. 現在の状況 (放射線業務従事者の累積被ばく線量 H28年度分)

区分(mSv)	H28.4～H28.6月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	0	6	6
10超え～20以下	0	57	57
5超え～10以下	0	314	314
1超え～5以下	139	2,013	2,152
1以下	1,148	7,870	9,018
計	1,287	10,260	11,547
最大(mSv)	4.71	32.12	32.12
平均(mSv)	0.38	0.94	0.87

○H28年度（4月～6月）に作業実績のある  
11,547名のうち

- 11,547名（100%）は50mSv以下
- 11,541名（99.9%）は20mSv以下
- 11,170名（96.7%）は5mSv以下



○全ての作業者について被ばく線量は線量限度内(50mSv/年)で管理。

## 7. まとめ

- 構内の環境改善（作業工法含む）により、線量当量率が低下していることから、それに付随して、従事者の線量状況も改善してきている。
- 一昨年度末から昨年度初めにかけて、凍土遮水壁工事やフェーシング工事等の大きな被ばくを伴う作業により、月平均線量および月最大線量とも高めで推移していたが、昨年度後半はフェーシングによる環境の線量率低下なども寄与して、月平均線量および月最大線量とも少なく推移している。

引き続き作業環境の線量低減に取り組むと共に、作業者の方に継続的に従事していただけるよう、被ばく状況について今後も継続して注視していきたい。